

2024/2/24 秘密の山でご褒美パウダー：三〇〇山8●8.2m

L1:F木、SL1:M江、N田、Y樫、T内、L2:S田、SL2:U美、S井、S田、O田 前泊組8名、当日組2名
天候:曇り時々雪、気温:-5~-10℃、風:1-3m/s、静穏
8:50 出発→9:00 林道終点→10:30 急斜面取りつき→10:57 C615→11:52 山頂・滑走準備→
12:14 滑走開始→12:35 C508露天昼食→13:00 下山開始→13:24 完了P着
登り3時間、距離往復で6.7Km、標高差535m

今年の冬は何だか変だ。2月なのに気温10℃超え、観測史上最高気温を塗り替えた。
山の雪が融けてしまうんじゃないかと気をもんでいたが、この週は冷え込みが続いて雪も降った。
前日まっさんヒュッテで温泉・宴会を楽しみ、朝目覚めたら10cm程の積雪。チセもシャクナゲも
しっかり見えて風もない、これはイケるんじゃないかと期待満々で集合場所のPへ向かった。



とある道道のゲートから出発、かつてはこのあたりのN見温泉→M内岳が我が会の山スキー定番でした。
出発前体操、前夜の酔い残ってる人いるかな？道路を600m程歩いて沢地形に入っていきます。



途中、見事なトドマツの巨木、林道と交差しながら高度を上げていく。
急登では深雪ふかふか不安定な中でのキックターンの連打、ふうふう。



この先、パウダー天国、至福のひと時



尾根に上がると、その先はゲレンデのようなオープンバーン。
ところどころダケカンバの巨木があるのみ。
斜度ちょうど良い、雪はフカフカ新雪20cm以上、小雪降って
いるけど風は弱くおまけにノートラック。絶好のコンディション！
山頂からの眺望ナシ。晴れならばニセコ連峰がドーンと鎮座のは
滑走は、ふわふわ浮遊感、ジャンプしても優しく受け止めてくれる。
歓声挙げて滑るひと時はあっという間だったけれど忘れられない1本でした。その後は露天で昼食。
一同大満足で山を下りました。毎年恒例の定番にしたい、素敵な斜面でした。私的には過去No.1！！
リーダー、サブリーダー、指導員の皆様ありがとうございました。

〇田記